

小池晃副委員長が「国民連合政府で戦争法廃止を」と講演



3人の国会議員と参議院選挙予定候補者

赤旗信州秋まつりに3000人

第38回赤旗信州秋まつりが10月11日やまびこホールで開かれ、3000人を超える参加者が集い、辰野からは34名が参加しました。

午前中は地元の太鼓の演奏や歌手、制服向上委員会による歌、琴とハーモニカのコーポや合唱などの多彩なプログラムが開催され、戦争法反対の交流企画ではないと決めた実行委員会」の女性、「ぼくらが主権者って知らないから委員会」の若者、ほか団体、個人6人から報告がありました。午後は藤野保史衆院議員、井上哲士参院議員の挨拶があり、来年7月の参議院選挙比例区候補のたけだ良介さんと、同選挙区候補の唐沢ちあきさんが「戦争法に抗議する。だれ一人戦場に送らない」「運動と世論を広げ歴史を開こう」との決意を表明し、参加者から大きな拍手が寄せられました。

つづく記念講演では、日本共産党小池副委員長が、国会外の声が国会内での野党の共同を広げ、戦争法廃止の国民連合政府の提案になったことを説明しました。「戦争法廃止の道は、大異を横に置いて大同につき、国民連合政府を実現して安倍政権を退陣に追い込むこと、さらにたたかいを広げ、来年7月の参議院選挙で野党間の選挙協力で戦争法廃止の勢力を多数にしよう」と、熱く呼びかけました。



記念講演に会場からは「そうだ!!」の声が

生かして平和を守るべき」などの感想を述べていました。楽しく、力を得たお祭りとなりました。

第58回長野県母親大会に参加して

―落語で憲法を楽しく学ぶ―

9月27日安曇野市堀金小学校にて県母親大会が開かれ、子ども・教育、年金・暮らし、医療・介護、平和のテーマごとの分科会や見学分科会、特別講座に1250名が参加し学びあい交流しました。

戦争体験を聞く特別講座では、伊那市の内田勝子さんが満蒙開拓と終戦・引揚げでの体験を話されました。当時、なぜ開拓団の人々が置き去りにされ、なぜ義勇軍や日本人兵士がソ連に連行されたのか

話を聞いて初めて真相を知りました。

落語で憲法を語る八法亭みややっここと飯田美弥子弁護士との記念講演「戦争する国なんて、まっぴらごめん」では、今の憲法は9条はもちろん、どの条文も国民主権の大事な条文であること、主権者である私たちが憲法をよく知り、暮らしにしっかりと生かさなければなりません。とても元気が出る大会でした。

古田 久美子

と争 私戦 戦時下の生活 (1)

私は昭和10年、旧伊那町(伊那市)の山村に7人兄弟の末子で生れました。国民学校に改称された昭和16年に入學、その年の12月8日、第2次世界大戦勃発、全校で日の丸の小旗を振り、神社に戦勝祈願をしました。

翌年長姉が満州国の会社員に嫁ぎ、翌18年は長兄が金沢50連隊に入営しました。男手も減りストープの焚き付けを全校で学校林に取りに登ったり、学業を止めて田の草取りで下肥をまいたばかりの田に入り道いずりまわりましたが、これは上級生の不平で先生が急きよ麻の皮むきに変更しました。麻の皮は繊維になるようでした。

都会から児童が親戚を頼り疎開して来るようになりました。おやつも充分になく、野ぶどう、あけび、いたどり、ぐみ、桑の実など食べられるものを友達と野山を捜し歩き、見つけると嬉しくて食べたものです。

音楽のドレミファソラシドはハニホヘトイロハに変更され、兵隊さんの歌ばかり教わったのです。

北大出・80歳 女性 (続く)

今後の日程

- 11月 2日 辰野町議会全員協議会
- 11月 4日 辰野町議会 福祉教育常任委員会
- 11月 7日 さよなら原発上伊那の会 産業廃棄物処理場学習会・富田村
- 11月13日 辰野町議会報告会 18:30 役場
- 11月22日 伸陽会 みかん狩り
- 12月 6日 上伊那平和集会